

平成 28 年度 第 1 回 土木計画学研究委員会 議事録

日時：平成 28 年 5 月 28 日（土）12：15～13：15

場所：北海道大学

配付資料一覧

- 【資料 1】平成 27 年度 第 2 回 土木計画学研究委員会 議事録（案）
- 【資料 2】平成 28 年度 土木計画学研究委員会 名簿（～28 春）
- 【資料 3】研究小委員会設置申請書（2 件），期間延長申請書（1 件）
- 【資料 4】平成 27 年度土木計画学研究委員会決算報告及び平成 28 年度土木計画学研究委員会予算執行計画(案)
- 【資料 5】計画学 50 周年関連行事 準備・進捗状況
- 【資料 6】学術小委員会からの報告
- 【資料 7】秋大会準備状況報告
- 【資料 8-1】春大会運営小委員会報告
- 【資料 8-2】各小委員会及びワークショップの活動報告
- 【資料 9】ホームページの修正・更新状況について
- 【資料 10】土木計画学研究委員会国際セミナー報告
- 【資料 11】ワンデイセミナーの報告

1. 桑原委員長から挨拶があった。
2. 前回委員会の議事録確認が行われ，特に意義なく承認された。
3. 委員の交代について
 - ✓ 資料 2 に基づき，国土交通省道路経済調査室長の山本悟司様と，同省都市計画調査室長の菊池雅彦様が新規委員として承認された。
 - ✓ 荻田委員が自動車安全運転センターへ，福山委員が東京大学へ異動となったことが報告された。
 - ✓ 山本俊行先生（名古屋大学）が次期春大会運営小委員長として承認された。
4. 研究小委員会関係について
 - ✓ 資料 3 に基づき，「地域アセットマネジメント実装研究小委員会」と「土木計画分野における 3 次元モデルの活用に関する研究小委員会」の新規設置が承認された。また，「都市間旅客交通研究小委員会」の設置期間が当初 2013 年 6 月～

2016年5月末であったが、2018年5月末まで期間延長が承認された。

5. 決算報告及び予算の執行計画について

- ✓ 資料4に基づき、平成27年度土木計画学研究委員会決算が報告された。また、平成28年度土木計画学研究委員会予算執行計画案が示され承認された。

6. 50周年記念事業について

- ✓ 資料5に基づき、原委員より50周年記念事業関連イベントの計画が報告されたが、特段のコメントはなく、資料5の計画に従って準備を進めることとなった。

7. 規約改定について

- ✓ 多々納学術小委員長より、今後、春大会と秋大会を全体見渡しながら調整を図っていく形で大会企画運営を行うため、現行の春大会運営小委員会に秋大会の運営機能を移行して大会運営小委員長とする組織改正を実施するとの提案があった。組織改正に伴う規約の改定案が示され承認された。移行期は、学術小委員会1年生委員が大会運営委員会についても1年間兼任する案が示され承認された。

8. 秋大会運営方針について

- ✓ 多々納学術小委員長より、今秋の秋大会から、特別論文セッションを設けることが報告された。

9. 学術小委員会からの報告

- ✓ 多々納学術小委員長より、特集号の査読状況について報告があった。

10. 2017年度春大会の実施状況について

- ✓ 内田委員より、空港システムの障害トラブルのために、オーガナイザーの欠席20名出たが、朝の段階で330人の発表者、発表の欠席は12人であり、503名の聴講者が参加し、関係者の協力で対応できたとの報告があった。
- ✓ また、交通障害トラブルのために参加できなかった聴講者については返金を認めるが、すでに講演登録済みの方には返金を認めないとの方針が示された。また、特例として、No showの場合でも、理由書を出せば投稿の権利を与えるとの案が示され承認された。

11. 秋大会の準備状況について（多々納）【資料7】

- ✓ 多々納学術小委員長より、資料7に基づき、2016年度秋大会の準備状況が報告された。

- ✓ 懇親会はグラバー園で実施し、雨が降った場合はホテルで行うとの報告があった。

12. 2017 年度春大会の準備状況について

- ✓ 資料 8-1 に基づき、2017 年度春大会は、6 月 10 日(土)、6 月 11 日(日)、愛媛大学において開催される案が報告された。

13. 土木計画学ハンドブックについて

- ✓ 小林ハンドブック小委員長の代理で大西委員より、原稿がほぼ集まった段階であり、秋大会までの発刊を目指している旨、報告があった。

14. 研究小委員会からの報告と今後の方針について

- ✓ 資料 8-2 に基づき、出村委員より、小委員会、ワークショップの活動状況の報告があった。
- ✓ 研究小委員会においては、必ず、ワンデイセミナーを実施し、研究成果を報告するべきとする方針が示された。

15. 幹事会からの報告

① HP 関係

- ✓ 資料 9 に基づき、織田澤委員より、HP の CMS 化の作業が完了したことが報告された。HP の運営方針については、今後策定していくことが報告された。
- ✓ 熊本地震関係のリンクが HP 上で必要ではないかとする意見があった。
- ✓ 現在、土木計画学研究論文集 26 (2009) と 27 (2010) が J-stage に未収録であり、委員会の独自予算での登録を視野に検討中であることが報告された。

② 国際セミナーの実施状況について

- ✓ 長田委員より、国際セミナーの実施状況が報告された。
- ✓ また、国際セミナーとワンデイセミナーの両方に位置づけられるイベントについては、実施報告を双方に行い、同時開催であることを併記するという運用案が示された。

③ ワンデイセミナーについて

- ✓ 大西委員より、各研究小委員会はワンデイセミナーを実施するよう依頼があった。
- ✓ また、ワンデイセミナーの開催及び運営フローが規定されていなかったため、今回策定が行われ、今後 HP 上で掲載する旨、報告された
- ✓ 状況の国際セミナーの実施状況が報告された。

16. 熊本地震への対応について

- ✓ 羽藤幹事長より、熊本地震に係る本研究委員会での対応活動が報告され、春大会

期間中に実施される緊急報告会についてのアナウンスがあった。

- ✓ 熊本大学の円山委員より、熊本地震関係での対応に関して謝意が示された。また、今後の支援の協力依頼があった

17. その他

- ✓ 河野先生，高木先生，赤松先生を中心に，森杉先生の追悼セッションを秋大会で企画する予定であることが報告された。

18. 閉会挨拶

- ✓ 任期終了にあたり，桑原委員長から挨拶があった。
- ✓ 屋井次期委員長より挨拶があった。